

号 外  
平成17年(2005)  
6/20(月)



小笠原 OGASAWARA -  
村民だより

編集・発行 小笠原村総務課  
〒100-2101  
東京都小笠原村父島字西町  
TEL04998(2)3111  
FAX04998(2)3222

ホームページアドレス

<http://www.vill.ogasawara.tokyo.jp>

小笠原の花・木・鳥・魚

花 ムニンヒメツバキ 木 タコノキ  
鳥 ハハジマメグロ 魚 アオムロ

## T S L コーナー VOL. 11

最近、新聞などに、「T S Lの収支見通し」「リース契約の解約」などの記事が掲載され、村民の皆さまには大変ご心配をおかけしているところです。今回は、現在のT S Lをめぐる状況及び村の対応などについてお知らせ致します。

### T S Lをめぐる最近の主な動き

これまでに村が把握している一連の動きは以下のとおりです。

- H16年11月13日 小笠原TSL「スーパーライナーオガサワラ」(以下スーパーライナー)の命名・進水式(岡山県玉野市)、東京都知事令夫人、小笠原海運社長、小笠原村長、小笠原村議会議長などが出席。
- 12月3、4日 国土交通省、小笠原海運、テクノシーウェイズ(TSW)、三井造船によるTSL村民説明会(父・母)、台風の影響により竣工予定日が5月31日から10月31日に変更になる旨及び11月中旬を目途に可能な限り早期に就航させたい旨を説明。
- H17年3月～4月 燃料油の高騰等を受け、小笠原海運が独自の試算に基づく収支見通しについて、国、都、村などの関係者に説明するとともに、国及び都に対し、赤字見込み額に対する支援の明確化を要請。  
国、都、小笠原海運の三者間で、スーパーライナーの収支見通し、支援策等につき協議を開始(現在も協議中)。
- 6月2日 当初の竣工予定日を過ぎても竣工日に関する変更通知が無かったとして、小笠原海運がTSWに対し、スーパーライナーの裸傭船契約を解約する旨を通知。
- 6月3日 TSWが小笠原海運に対し、完工引渡し期日が平成17年10月31日であることは既に通知済みであるとして、裸傭船契約の解約は認められない旨を通知。
- 6月7日 小笠原村長、小笠原村議会議長の連名で、国、都、小笠原海運の三者に対して要望書(裏面参照)を提出。

### 村としての考え方、対応

これらの一連の動きに対する村としての考え方、対応は以下のとおりです。

村としては、TSLの小笠原航路への導入を要請した当初から、TSLを活用した小笠原の振興を図ることとしてきており、現時点においてその姿勢に何ら変更はありません。

その方針に基づき、これまでも村内の受け入れ態勢の整備等を着実に進めてきているところであり、就航間近のこの時期になってこのような事態になったことは全く遺憾なことです。

村からは国、都及び小笠原海運に対し、スーパーライナーの円滑かつ確実な就航に向け万全を期すよう要望書(裏面参照)を提出しています。

小笠原海運からは、支援策が明確になっていないのでこのような措置(解約通知)に出たのであって、スーパーライナーを運航する気がないということではないこと、また、国及び都からは、スーパーライナーの収支見通し、可能な支援策について協議をしているところであり、7月を目途に一定の方向性を出すとの回答を得ています。

したがって、村としては、可能な支援策等が示されるまでの間、関係者から鋭意情報収集を行うとともに、関係者間による協議を通じて、事態が解決に向かうことを期待しています。

## 要望書の内容

## 要 望 書 小笠原村/小笠原村議会

小笠原村の振興につきましては、日頃よりご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

新造船『スーパーライナーオガサワラ』は、平成17年夏の就航予定でありましたが平成16年8月の台風被害により非常に残念であります。就航時期が今年の11月に延期されました。この延期は、自然災害によることから、就航関連の調整期間として捉えてきました。

ところが、新聞報道によると、TSLの燃料となる軽油が、昨年からの原油価格の高騰のあおりを受け、事業採算上の収支の見込みがたたず、本事業の存続が困難になりつつあると伝えられております。

また、当初予定していた、旅客数を運航会社の小笠原海運が精査の上、下方へ修正したために、実質的な収支見込は大幅な赤字になり、そのため運賃の値上げが必要である等、本事業に対する不都合な風評が流れております。

しかしながら、関係者から今まで一切の説明がなく、村民はTSLに対し大きな不安を抱えています。就航予定の11月まで、余すところ半年余りとなりましたが、未だに就航期日が確定していないことも、不安を増大させております。

『スーパーライナーオガサワラ』の就航を契機に、当村は観光振興の推進と住民生活の向上を積極的に図るべく関係機関と連携を進めております。

村民の希望の星『スーパーライナーオガサワラ』が円滑かつ確実な就航ができるよう万全を期し、早急に運行スケジュールを確定し、村民の不安を解消して頂けるよう要望いたします。

平成17年6月7日

国土交通大臣 北側一雄 殿  
東京都知事 石原慎太郎 殿  
小笠原海運株式会社 社長 鮫島宗和 殿

小笠原村長 森下一男  
小笠原村議会議長 池田 望

## 「SUPER LINER OGASAWARA」最新建造風景



船体外観（横から）



1階のフォメーション、売店、レストラン



船体外観（後ろから）



操縦室



船体外観（斜め前から）

建造は順調に進んでいます。



問合せ先 総務課企画政策室 2-3111